

日本と海外でのアドバイスの違いについて

フィナンシャル・アドバイスには、プランニングやコーチングが含まれる

日本では投資に対するアドバイスと、
フィナンシャル・プランニングが分かれている

投資助言とは

顧客に対し「有価証券の価値等」や「金融商品の価値等の分析に
基づく投資判断」に関し助言（アドバイス）を行うこと

フィナンシャル・プランニング（FP）とは

収支・負債・家族構成・資産状況などのソース提供を受け、それを
基に住居・教育・老後など将来のライフプランニングに即した
資金計画やアドバイスを行うこと。フィナンシャル・プラン
ニングには、貯蓄、投資、税制、不動産、保険、教育資金、年金制
度、相続など幅広い知識が必要になります。

海外でのフィナンシャル・アドバイスには、プラン
ニングやコーチングが重要要素として含まれる

フィナンシャル・アドバイスの5本の柱

1. プランニング
2. コーチング
3. 投資に対するアドバイス
4. 税金の管理
5. キャッシュフロー

業界調査ではアドバイスの価値は利回りに換算して1.5~4%と想定している ※1

フィナンシャル・アドバイザーへの評価（上位5つ）

1. 私自身と私の状況・ニーズを理解しているか
2. アドバイザーやFPの信頼
3. コミュニケーションのしやすさ
4. 手数料や費用の透明性
5. 金融の問題を取り扱う力量

設問：どの要素がアドバイザーの品質を評価するときに有用ですか？
n=502; 現在アドバイスを受けている、もしくは必要に応じて受けている人を対象
に、複数項目から3つを選択してもらう ※2

※1: Fidelity Brokerage Services LLCのHPより抜粋したものをフィデリティ証券にて翻訳

※2: FIL Responsible Entity (Australia) が発行するThe Value of advice (2019)より抜粋したものをフィデリティ証券にて翻訳
転用不可